

北海道放送

活動名	小学校授業支援 出張授業
実施期間	令和6年11月～令和6年12月
実施回数	学校訪問 2回

【実施学校】

札幌市立前田北小学校、札幌市立美香保小学校

【事業実施の成果・課題】

1校目では動画やスライドを見てもらう座学が中心の授業となったが、途中で飽きてしまったように見受けられた。授業後に行ったアンケートでも「長かった」、「つまらなかった」という感想が一定数散見されたため、2校目ではガラリとスタイルを変更した。座学は動画視聴のみとし、動画をみながらのクイズコーナー実践や、アナウンス体験など座って学ぶだけでなく、身体を使っの活動を多く行ったところ、集中力が持続したように感じた。ショルダー型のカメラを持ち込み、実際に担ぎファインダーを覗いたり、ワイド番組で実施しているクイズコーナーをやってみたり、講師のアナウンサーと一緒にニュース原稿を読んだりする体験が盛り上がっていたように感じた。しかしながら「きょうのプログラムで楽しかったのはどのプログラムですか？」というアンケートを取ったところ、「熱血太郎のニュースができるまでの動画視聴」という回答が一番多かったため、実際に学校に足を運び、対面で講義を行う強みやメリットをより生かせるような講義づくりを行いたい。

【事業担当者・講師の感想】

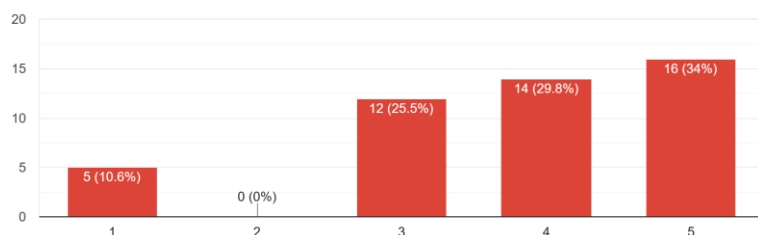
【事業担当者の感想】

授業実施後、児童に向けて行ったアンケートの結果、1校目の実施校では☆1（つまらなかった）と☆3（普通）と回答した児童が一定数散見された。実際に授業を行っている最中も飽きてしまっていたり、疲れてしまったりしているような状況が見受けられたため、2校目の実施までにプログラムを練り直し、体験活動を増やしたところ、アンケート結果にも反映されたため改善してよかったと感じた。

※参照 アンケート結果

【1回目】 平均 3.77

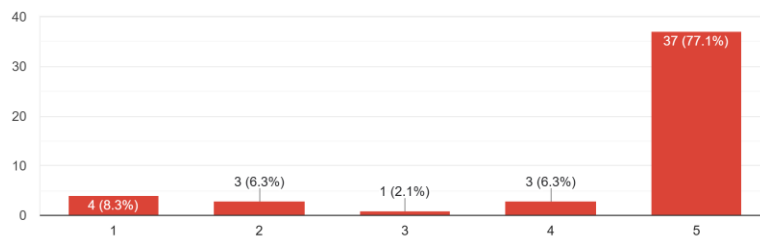
1. 出張授業はどうでしたか？（☆1：とてもつまらなかった～☆5：とても楽しかった）
47件の回答



[2回目] 平均 4.38

1. 出張授業はどうでしたか？（☆1：とてもつまらなかった～☆5：とても楽しかった）

48 件の回答



学校やクラスによって授業の雰囲気がまったく変わってくるため、どのようなタイプの児童にも楽しんで学習してもらえるようなプログラムづくりを行いたいと思った。

テレビ離れとは言われているが、朝夕のワイド番組は日常的に視聴しているように感じたため、もっと視聴してもらい、局や番組のファンを増やしていきたい。

【講師の感想】

事前に担当の先生方とは打合せをして、子供たちの様子や雰囲気をヒアリングするが、実際に会ってみたいとどのような子供たちなのか、全体の雰囲気はわからない。よって最初は探りつつ進行していくので、場合によっては、うまく子供たちを惹きつけられずに終わることもあり、難しさを感じる。

そんな中、やはり実際の放送機器に触れたり、体を使って体験したり、クイズ形式などにすると子供たちも食いついてくれて、興味をもってくれると感じている。「ニュースができるまで」の動画はその点、子供たちもしっかり見てくれるので、良い教材だと感じる。同じように体験型やクイズ形式などの素材で、放送やニュースのことを学習できるような素材があれば、さらに良いと感じました。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

<教諭の感想>

・話がわかりやすく、子どもたちは興味をもって取り組むことができていました。特にキャリア教育の一環としてお願いしていたところ、加藤さんの話を具体的にしてくださったので子どもたちも我々教員も大変勉強になりました。ありがとうございました。

・番組の作り方の動画がとても分かりやすく面白かったです。本物のアナウンサーの方のお話が聞けてとても貴重な時間でした。欲を言うなら、アナウンサーを目指す上で大変だったことや、ニュース原稿の普通の人の読み方、プロアナウンサーの読み方の聴き比べなどもできるともっとアナウンサーの喋りの凄さが実感できたかなと思いました。ありがとうございました。

・テレビカメラを持つ体験、今日ドキッ！のクイズ体験、早口言葉、アナウンサー体験など様々な体験ができたことが楽しくて良かったです。熱血太郎の動画も面白くて飽きない工夫がされていて良かったです。

<子どもたちの感想>

・速報性、正確性、公平性、公共性の4つを学べたりカメラを持つことができたりしてとてもいい体験をすることができました。

- ・たった数分のコーナーの動画を作るのに3日もかかっていたなんて知らなかったので、制作に関わっている人はすごいんだなと思いました。あと、取材用のカメラを持たせて頂いて、人生でできるかできないかの貴重な体験をさせていて、とても嬉しかったです。
- ・報道番組のイベントなどに行ったことがあるけど、カメラを持ったり、ニュースができるまでの工程などをここまで詳しく知れたのは初めてでした。
- ・ランクイン体験がとても楽しかったです。「熱血太郎ふんとう記」も思っていたより面白くて、ニュースができるまでに関わっている人全員がとても頑張っていることが伝わってきました。